

函館 寺めぐり

私たちは、地図を見ていたら函館には寺がたくさんあることに気がきました。そこで私たちは、函館にはどういう寺があるか、自主研修で調べてみることにしました。

行った順番

説明

東本願寺



東本願寺は、元町公園から歩いて約7分です。
大きくて元気が出そうな感じでした。

称名寺



称名寺は元町公園から歩いて約8分です。
新しく、きれいな寺でした。



高龍寺



高龍寺は元町公園から歩いて約13分です。

寺の中には水の中にお金を入れて
お願いするものなどがありました。みんな
しっかりとお願いしていました。

迫力があるのでぜひ見に行ってください。

場所案内

旧公会堂を出発して、外国人墓地に向かって歩く途中に寺があります。簡単に見つけられるので、函館に行った
らさがしてみてください。

感想

函館には、たくさんの寺がありました。3つの寺の中でも高龍寺が一番迫力がありました。寺の中にお賽銭箱があったので、みんなでしっかりお願いしました。ほかにも実行寺などたくさんの寺があるので、ぜひみなさんも寺めぐりをしてみてください。

買い物いっぱい

修学旅行の一番の楽しみは、なんといっても買い物タイムです。その買い物の中で、ぼくたちがおすすめするところをしょうかいします。

ぼくたちのおすすめするお土産

慧斗のおすすめ

白い恋人 「定番です。」

涼太のおすすめ

バターアメ 「おいしいです。」

敬悟

夕張メロンハイチュウ 「限定です。」

隆太郎

じゃがぼっくる 「しょっぱい所が美味しい」

僕たちの美味しかったご飯

・隆太郎、敬悟のおすすめ
函館塩ラーメン 函館限定です。

・慧斗のおすすめ
みそラーメン おいしー！

・桜庭涼太のおすすめ
海せん井 とってもおいしいです。

函館に行ったらぜひ、食べてみてください。

「じゅじゅたけうち」では、修学旅行生だと割引してくれます。おとくだよ！！

おいしー！



赤れんが倉庫について

赤れんがの中には、色々な食べ物やキーホルダー、おかしの種類がたくさんあって選ぶのに迷います。

ほかにも、かざり物、服、ガラス細工などがあります。

函館にきたらぜひ赤れんが倉庫に来てください。



感想

- ・函館の買い物は、大館の買い物より楽しいです。
- ・お店には物がいっぱいあって、なにを買っていいかまよってしまう時もあります。
- ・食べ物もいろいろなものがあります。美味しいので、函館に行ったらぜひ食べてみてください。

函館山と100万ドルの夜景

僕たちは修学旅行で函館に行きました。修学旅行では、7時ころから8時ころまで、函館山から夜景を見ます。100万ドルの夜景といわれるだけあって、とてもきれいでした。

函館の夜景



100万ドルの夜景について

函館の夜景は、100万ドルの夜景といわれています。写真のように、とてもきれいです。

カトリック元町教会やハリストス正教会がライトアップされていて、お城のように、きれいですよ。

豆知識

ここで問題です。函館山から見た夜景にはある文字がかくれています。それはなんでしょう。

1. トテモ、スキ
2. ハート、スキ
3. キミガ、スキ

答え2. ハート、スキ
みなさん探してみましよう。

函館山



ゴンドラについて
函館山からの夜景を見た後、大型のゴンドラに乗って山を降ります。

豆知識

ゴンドラに乗る時、真ん中あたりに乗ると外の夜景が見えないので、夜景が見えるように、窓側に乗ったほうがいいですよ。

ロープウェイ



まとめ、思ったこと

ぼくたちが函館山から見た夜景には、ハート、スキという文字があつてとてもびっくりしました。また、カトリック元町教会やハリストス正教会が、お城のように見えてすごかったです。ぜひ見に行つて、ハート、スキを探してみてください。

函館 元町ぶらり旅

私たちは、函館の元町というところへ行ってきました。その中で、私たちのオススメをしょうかいします。



旧函館区公会堂

旧函館区公会堂は、明治42年5月に建てられた、洋風の建物です。中には、高級なイスや、テーブル、シャンデリアなどがあります。そのなかでも、2階には立派な大広間があります。バルコニーのドアは、模様入りのガラスになっていて、とてもおしゃれです。

その他にも、公会堂の中には、ハイカラ衣裳館というところがあります。ハイカラ衣裳館では、ドレスを着て記念写真を撮ることができます。公会堂にきたら、ぜひドレスを着てみてください。

大人300円、学生150円です。函館にきたら、絶対に行ってみてください！！

カトリック元町教会

カトリック元町教会は、横浜の山手、長崎の大輔とともに、最も古い歴史を持つ教会です。1860年ペリー-外国宣教会司祭メルメ師により、仮聖堂が建てられました。現在の聖堂は、1921年の函館大火後、1924年に新しく建てられました。

建物はゴシックスタイルで、すばらしい教会です。

入館料は無料ですが、午後4時には閉まってしまうので、気を付けてください。なるべく早く行ったほうが良いと思います。

カトリック元町教会は、元町の教会の中で最も歴史のある教会なので、こちらもぜひ行ってみてください！！



ソフトクリーム通り

ソフトクリーム通りには、3軒お店があります。私たちは、カトリック元町教会から見て、3軒目のお店に入りました。そのお店には、西野カナやNEWSの山ピーなど、たくさんの芸能人がおとずれたそうです。私は、夕張メロン味をおすすめします。ぜひ食べてみてください！



写真歴史資料館

函館は江戸時代の末、最初の開港場として、海外からいちはやくいろいろな文化を取り入った町です。写真はその一つです。

ここには、写真について、いろいろな物が残されています。写真に興味がある人は、おとずれてみてください。



感想

私たちは函館の元町で、歴史についていろいろ知りました。函館は、いちはやく進んだ文化を取り入れた町だということが、よく分かりました。函館にもう一度行きたいです。

函館奉行所・五稜郭タワー

私たちは、修学旅行で函館に行ってきました。その中でも、特におすすめしたい所を紹介します。



五稜郭

「五稜郭」は、星の形をしています。

展望一階には、強化ガラスのゆかで見えるシースルーフロアがあります。

展望二階は、五稜郭の歴史を学べる展示スペースがあります。竣工当時の五稜郭を正確に再現していて、現在の姿と昔の姿を比較して見ることができます。

エレベーターの中では、ペリーや土方歳三(ひじかたとしぞう)が映し出されます。

とても勉強になるので、おすすめです。

ぜひ、五稜郭タワーへ行ってください。

みどころ

みどころは、展望台から見る景色です。左上の写真のように、五稜郭公園や函館奉行所が見えます。

ほかには、さわれる模型などがありますよ！ぜひ、注目してみてください！！

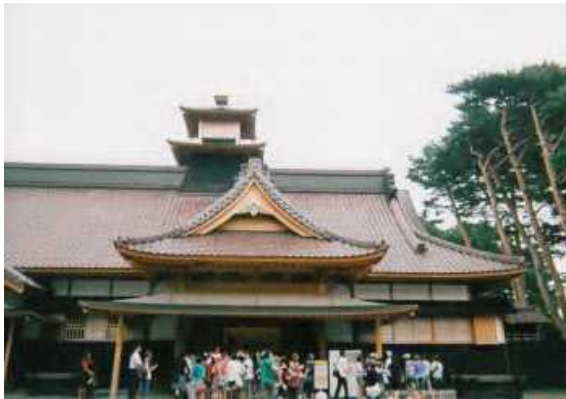
箱館奉行所

箱館奉行所は、江戸幕府の役所です。

1857年から五稜郭の築造が始まり、7年後の1864年に役所建物などがほぼ完成しました。このことから、奉行所が移転して五稜郭の中で業務が始まり、外国との交渉や幕府の北方政策の拠点となりました。

その後、江戸幕府の崩壊により明治新政府の役所に引きつがれました。しかし、戊辰戦争最後の戦いとなる箱館戦争の舞台となりました。戦争後は、1871年に奉行所をふくむほとんどの建物が解体され、公園として開放されました。

奉行所の中には、いろいろな物がかざってあってとても面白いですよ。ぜひ、行ってください！



みどころ

奉行所の中には、時間を知らせる「太鼓やぐら」というところがあります。実際に入る事はできませんが、当時は大きな太鼓があったそうですよ。ぜひ、注目してください！

坂本龍馬と北海道とのつながり！

路面電車も！

私たちは、自主研修で坂本龍馬記念館に行ってきました。函館と坂本龍馬の関係や路面電車について分かったことを説明します。

函館と坂本龍馬の関係は？

慶応3年11月15日、坂本龍馬は暗殺され、龍馬自身は残念ながら北海道に足をふみ入れる事はできませんでした。龍馬の片うでとして活やくし、後に養子となった甥(おい)の坂本直(なお)は、慶応4年、五稜郭に置かれた函館裁判所の役人として赴任(ふにん)し、函館戦争にも従軍(じゅうぐん)しています。龍馬の後継者である直が、その第一歩を記した場所が函館だったのです。また、龍馬の縁戚(えんせき)にあたる澤部琢磨(さわべたくま)も函館に渡っています。

坂本龍馬記念館について！！

路面電車で十字街に降りて、すぐそばに坂本龍馬記念館があります。

そして、その向かいには坂本龍馬の像があります。

坂本龍馬記念館の中には、大きい坂本龍馬の写真と、外国や日本のお金が入っているケースがあります。

私たちもお金を入れて来ました！！

みなさんも行ってお金を入れて見て下さい！
でも、写真をとるのは**禁止**です。

入館料は、100円です。



坂本龍馬記念館の外の写真です。

路面電車について！！

私たちは、湯の川行きの路面電車に乗りました。電車に乗ると中学生や他の修学旅行生が乗っていて、もうそれ以上人が乗れない程とても混んでいました。

路面電車の線路は、道路と区別がつかない程分かりにくい所にありました。

みなさん乗るときは、気を付けて下さい！！

小学生は、100円です！！

感想！

私たちは、事前に調べていても実際に行ってみると市電の料金がちがっていたり、場所がちがっていたりして、地図を持っていてもどこだか分からなくなりました。

初めて路面電車に乗って、思っていたより人がたくさん乗っていてびっくりしました！

写真をとるのがだめな所もあったけど、色々な所に見学に行けたのでよかったです。



函館市青函連らく船

摩周丸と津軽海きょうフェリー

今は、電車などで函館に行けますが昔はフェリーや青函連絡船をつかっていました。ぼくたちはそのフェリーや青函連絡船について説明します。

ましゅう丸
模型



摩周丸の3階では、青函連らく船の歴史をパネルで解説しています。また、歴代青函連らく船の構造やしきみなども模型や映像で解説しています。グリーン指定席に座って函館港をながめれば、乗船気分を味わえます。

操舵室は4階にあり、当時のままの姿を自由に見学できます。舵輪や各種操船機器にもさわることができます。操舵室のすぐ後ろには無線通信室があり、ここも当時のままで、モールス信号の打電体験ができます。

ぼくたち6年生は、このような船に乗りました。この船の名前は、津軽海きょうフェリーです。船が水に、浮かぶのは船が押しつけた水の分だけ水中にある物体にはたらく上向きの力「浮力」が働いているからです。

重たい鉄でも、薄くのばして器にすると、体積が増えて、水中で働く浮力が大きくなります。



フェリー

感想

摩周丸は、ほとんどが約50年前使われていた当時のまま残っています。操舵室を見たときまだ使えそうな感じがしましたが、約50年も前のものだと知った時、よくそんな古い物が残っていたなあとびっくりしました。

フェリーでは、広季さんが操縦の体験をしました。とても難しかったそうです。甲板から見た外の景色も、海がひろがっていてとてもよかったです。

フェリーの中にはいろんな機械があり、自動で動いていて、あまりゆれなく楽しい船旅ができました。